

先週のマーケット動向(8月29日~9月2日)

為替、株式

	Open	High	Low	Close	Chg
USD/KRW	1,342.5	1,363.0	1,337.6	1,362.6	+31.3
JPY/KRW	9.7114	9.7521	9.6586	9.7148	▲0.001
KOSPI	2,432.06	2,473.75	2,402.67	2,409.41	▲71.62

(Source: SMBS, Bloomberg)

先週のドル/ウォン相場は大きく上昇した。ジャクソンホール講演(8月26日)にてパウエルFRB議長がインフレ抑制のために目先の指標に囚われず当面の間は金融引き締めを継続するとのスタンスを示したことを受け、29日のドル/ウォンは1,342.5ウォンにてオープン。週前半は実需のウォン買いや当局による介入等あり、ドル/ウォンは1,340台上下を押し下げられるように推移した。さらに31日にはPBOCのドル売り人民元買いと思われる動きもありドル/ウォンは週安値1,337.6まで下落。しかし週末の米雇用統計を前に米長期金利が大きく上昇した他、ECB高官によるECB会合(9/8)での大幅利上げ発言も相次ぎ、再びウォン売りとなると実需のウォン買いが減少した月初2日はドル/ウォンは週高値1,363.0まで上昇。結局先週末対比31.3ウォン上昇した1,362.6ウォンでクローズ。

今週の見通し

今週のドル/ウォンは底堅い展開を予想する。米雇用統計は無難に通過し、市場の注目はインフレ率の上昇が止まらないユーロ圏に移りつつある。ドルストリームの停止など悪材料が目立つ中、ECB理事会での利上げ幅に限らずECB高官からはインフレ率の低下に対し悲観的な意見が出やすく、欧州金利主導で金利上昇しやすい局面となろう。ユーロ買いはテクニカル的にはドル売りとなるため、一時的にドル/ウォンは下落することも予想されるが、結局は金利の上昇余地の大きい通貨が買われる既存の構造に落ち着くだろう。

予想レンジ

USD/KRW	JPY/KRW	USD/JPY
1350 ~ 1375	9.55 ~ 9.85	139.5 ~ 141.5

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

* USD/KRW chart (source: Bloomberg)



* JPY/KRW chart (source: Bloomberg)



今後の予定

- 5日(月) 欧 8月 サービス業PMI 確報値
中 8月 総合PMI
中 8月 サービス業PMI
- 6日(火) 米 8月 サービス業PMI 確報値
米 8月 ISM非製造業景況指数
- 7日(水) 欧 2Q GDP 確報値
韓 7月 国際収支
中 8月 貿易収支
- 8日(木) 日 2Q GDP 確報値
日 7月 国際収支
欧 ECB 政策金利発表
- 9日(金) 中 8月 PPI
中 8月 CPI